

試合番号 : 307		試合会場 : 岡崎中央総合公園総合体育館				観客数 : 3,580					
開始時間 : 12:00		終了時間 : 13:45		試合時間 : 01:45		主審 : 原 啓之					
副審 : 佐々木 伸子		通算		岡山シーガルズ		通算					
デンソーエアリービーズ		18勝 3敗 ポイント: 51		25 第1セット 27		15勝 6敗 ポイント: 45					
監督コメント	今日も会場をデンソーレッドに染めてご声援頂けたことに深く感謝致します。ありがとうございました。 シニア選手を欠いた中で試合になりましたが、一進一退でどちらに転ぶかわからない展開でした。ブロックとディフェンスで粘り繋ぐバレーが出来ました。 ホームでの敗戦となりましたが、来週以降のファイナル8に向けてチームで修正して臨んでいきます。2日間ホームゲームにたくさんの方々に来て頂き、パワーを頂きました。熱い声援ありがとうございました。		0	22 第2セット 25		3	監督コメント	レギュラーラウンドラスト2戦を2連勝で飾れたことで、積み重ねてきた結果が武器になりつつある。ファイナル8まで個人及びチームの課題と向き合い、ワンステップアップして臨めるよう、頑張っていきたい。 2日間にわたり大変お忙しい中、多くのファンの皆様が会場に駆けつけてくださった事に心より感謝します。温かいご声援ありがとうございました。			
	レギュラーラウンド1位のデンソーエアリービーズがホームゲームに2位の岡山シーガルズを迎えてのレギュラーラウンド最終戦は岡山シーガルズがセットカウント3対0で勝利した。第1セット、序盤に岡山が金田の攻撃、川島の攻撃とブロックで4連続得点し5対2とリードする。デンソーは工藤・鎗谷のサーブサービスエースなどで追い上げ7対6と逆転する。さらに10対10から奥村のブロックなどで3連続得点し3点のリードを広げる。岡山は17対20から渡邊の攻撃、金田の攻撃とブロックなどで4連続得点し再度逆転する。1点を争う展開の終盤デンソーが田代のアタックで連続得点し先にセットポイントとする岡山は西村がアタックを決めデュースとする。最後は岡山の佐々木がセットポイントからアタックを決めセットを取った。 第2セット、両チーム共に相手に連続得点を許さず競った展開となる。岡山がラリーの中で連攻を織り交ぜ得点し自分たちの攻撃のリズムを作る。デンソーはアタックをレシーブされ、ボールをつながれリズムをなかなか作る事が出来なかった。最後まで岡山の渡邊がセットポイントでアタックを決めセットを連取した。 第3セット、デンソーはセッターを田代に代えて田原でスタート。5対5から岡山が及川の攻撃、宮下のサーブサービスエース、佐々木の攻撃で4連続得点し3点リードしこのセットも主導権を握る。デンソーは兵頭に代えジャンを入れ強打で反撃を試みるが流れを変える事は出来ず、最後は岡山の佐々木がマッチポイントからアタックを決めて勝利を決めた。										
	要約レポート										

試合番号 : 308		試合会場 : 岡崎中央総合公園総合体育館				観客数 : 3,120					
開始時間 : 15:00		終了時間 : 16:14		試合時間 : 01:14		主審 : 小野 将人					
副審 : 種元 桂子		通算		NECレッドロケッツ		通算					
久光製薬スプリングス		10勝 11敗 ポイント: 28		21 第1セット 25		11勝 10敗 ポイント: 33					
監督コメント	ファイナル8に繋がる天切な一戦。昨日の敗戦から気持ちを切り替えて挑んだが、残念な結果となってしまった。 来週より優勝に繋がる負けれない戦が始まるが、一戦一戦チーム一丸となって戦い抜くための準備をしっかりしたいと思います。 年明けの試合にもかかわらず会場まで駆けつけて下さったたくさんの方々の応援ありがとうございました。		0	12 第2セット 25		3	監督コメント	レギュラーラウンド最終戦、何としても勝つという気持ちで挑んだ。セット序盤から、リードする展開を作ることができ、入りとしてはよかったと思う。しかし、相手のミスに助けられた場面や、点数が欲しい時に自チームからミスを出すこともあったので、ファイナル8では改善していきたい。 レギュラーラウンドでは沢山の応援、ありがとうございました。ファイナル8もNECらしく戦っていきたくと思います。引き続き、応援よろしくお願ひします。			
	久光製薬スプリングスとNECレッドロケッツの試合はどこからでも打ってくる印象と粘りのレシーブが随所に見られたNECがストレートで勝利した。第1セット、久光製薬はレシーブがしっかりセッター小島まで返ると積極的にミドルブロッカー岩坂・ファビアナにボールを集め得点を重ねるが、NECはセッター澤田・リベロ小島が随所で粘りのレシーブを魅せるも柳田・古谷がしっかり決め切りこのセットを先取る。 第2セット、NECは2-3から相手のタイムアウトや古賀のノータッチサーブサービスエースを含む6連続得点で勢いをつけるも古谷の相手ブロックの間を抜くアタックや、柳田のアタックが決まり連取する。久光製薬はサーブレシーブで間を狙われ崩されたが、井上に奮闘するも大きく引き離されてしまった。 第3セット、後がない久光製薬は、序盤から井上にボールを集めNECに食らいついていくが、NECはレシーブも安定し、全員で攻撃をしかけていく。このセットは古賀のレフトからのアタックが鋭く決まっていた。また、セッター澤田はラリー中にミドルブロッカーやバックアタックを使ったりと、攻撃の幅がとて広いネットワークを魅せ、レギュラーラウンド最終戦をいい形で締めくくった。										
	要約レポート										

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :			
副審 :		通算		-		通算			
-		-勝 -敗 ポイント: -		第1セット		-勝 -敗 ポイント: -			
監督コメント				第2セット			監督コメント		
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
要約レポート									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :			
副審 :		通算		-		通算			
-		-勝 -敗 ポイント: -		第1セット		-勝 -敗 ポイント: -			
監督コメント				第2セット			監督コメント		
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
要約レポート									